



おかしな、おかしなTPP議論！！

車は例外受けいれ！

三月五日の朝日新聞に「政府方針・TPP、米に譲歩、車は例外受け入れ」とあった。今、米国は輸入乗用車に二・五%、トラックに二五%の関税をかけている。「TPPで米

国の関税を下げさせて工業製品の米国向け輸出を増やす」筈なのに、交渉参加前から米国に「譲歩」。農産物、医療保険、銃規制等、アメリカから取るべき譲歩は山ほどある筈。交渉のイロハも知らない？

食糧自給率は

干ばつなどの気候変動、病害虫被害などで穀物などの食料生産には常にリスクが伴う。世界的に穀物生産が落ち込んだ時、自国内をさておいて日本に輸出するようなお人好しの

国はない。日本の食糧自給率は僅か三九%。それを五〇%に引き上げるのが農水省の目標。しかし、農水省はTPPで食糧自給率は十三%に下がると試算している。

この問題について安倍首相の答弁がふるっている。「食糧自給率を上げることは重要。農業を活性化、TPP交渉参加いかに関わらず攻めの農政に力を入れる」と。

食料自給率を上げたのに、それを画期的に下げるTPPに参加して、どうやって食糧自給率をあげるのか？それが出来れば「こんな苦勞はせぬものを」という寅さんの唄が頭に浮かんだ。

皆さんはどう思われますか？

三月二十日からのアンデパンダン展出品準備の為、来週はお休みします。アンデパンダン展には日曜ジジ通信の原画を出品します

鎌倉街道

横浜 弘明寺



横浜の鎌倉街道は、関内駅近くから、弘明寺、上大岡を経て鎌倉の若宮大路に至る。片側二車線ある幹線道路だ。

この鎌倉街道の下を地下鉄が通っている。一九七二年開業。それまでは、この道を市電が横浜駅の東口までコトコトと走っていた。市電の吊革につかまって街を眺めた。「あっ！あそこにあんな店があったんだ。寄らなくっちゃあ」と降りたりした。

市電が廃止されて、バスも走っている。絵の左端に描いたバス停は「弘明寺」。

バス停の前、鶏肉とうなぎを扱う店から、蒲焼きの煙が流れる。つい、買いたくなるが、近年、うなぎの稚魚シラスが不漁で、鰻が高騰。蒲焼きの串も小さくなっている。